



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ

30年におよぶ経済停滞・暮らしの困難を打開するために——三つの改革で暮らしに希望を

日本共産党の経済再生プランを発表

9月28日、日本共産党は、経済再生プランを発表しました。目次を紹介します。

1. 政治の責任で賃上げと待遇改善をすすめる—人間を大切にする働き方への改革
2. 消費税減税、社会保障充実、教育費軽減—暮らしを支え格差をただす税・財政
3. 気候危機打開、エネルギー・食料の自給率向上—持続可能な経済社会への改革

おわりに—「失われた30年」からの脱却にむけ、国民的討論と合意を
(次号に要旨紹介)

「人権としての医療アクセスの保障」

10月5日、日弁連のシンポジウムをオンラインで聴きました。

医療経営学のユウヘイキョウ教授の話は興味深い内容でした。

医療費の窓口負担をあげても医療費の削減にはならない。ランド医療保険実験で明らかになっており、自己負担が高い群は受診行動が抑えられるが、喫煙や肥満の生活習慣は改善せずに死亡率が高い。

保健師などに投資をして雇用を増やし、生活習慣病の改善、1人暮らしの寂しい人を減らすなどに力を入れることが医療費削減には

有効である。

長野県で医療機関が地元経済に与える影響を研究しているが、非営利部門、医療や福祉への投資は雇用も上げ、地元でお金が使われて、6倍の経済効果がある。病院の統廃合は、住民の医療アクセスが悪くなるだけでなく、地域経済にとってもマイナスである。日本の再生プランは非営利にお金を回すことだ、とキッパリ。

人と人との温かいコミュニケーションが大事だ。医療効率のための病院の統廃合は誰も幸せになりません。納得のお話でした。

遠藤れい子の笑顔でファイト

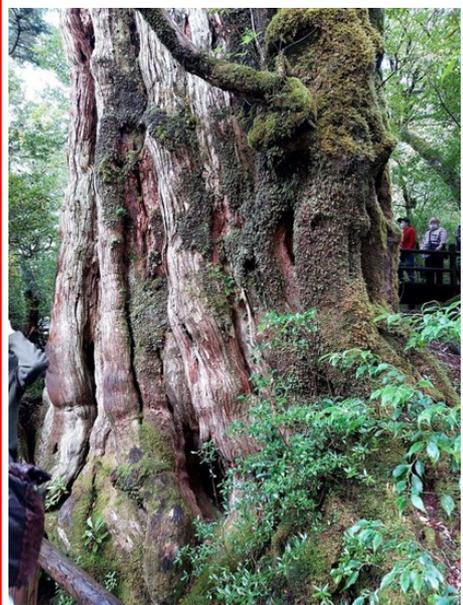
田んぼ作業も終わった10月13日、JA越後ちゅうえつとの合併企画、「種子島・屋久島3日間」の旅に、『紀元杉・千年杉に会いたい』と、夫婦で参加しました。

夢の出会いには神秘的に感じました。15もの着生植物を支えながら、紀元前から生きています。すごいオーラです。パワーをもらいました。

先人たちが自然との共存を守ってきたことが現在に繋がっています。人間は自然を壊してはいけないのだとつくづく感じました。

「1か月に35日雨が降る」といわれる屋久島。私たち

屋久島の千年杉



紀元杉		KIGENSUGI CEDAR	
樹高	19.5m	Tree height	19.5 m
胸高周囲	8.1m	Circumference at breast height	8.1 m
樹齢	約3,000年	Age	3,000 years old (estimated)
標高	1,230m	Altitude	1,230 m
着生植物	ツガ・ヒノキ・ヤマグルマ・サクラツツシ・オオクシマジャクシ・アセビ・マルバヤマシグレ・ヒカゲツツシ・ナカマド・アクシバモドキ・シメミ・トクリヌツゲ・ソヨゴ・ミヤマシキミ・ユズリハ	Epiphyte:	Tsuga sieboldii (Tsuiga), Chamaecyparis hinoki (Hinoki), Trochodendron araliifolium (Yamaguruma), Rhododendron yakushimense (Yakushima sakaki), Pieris japonica (Asahi), Rhododendron taishiroi (Sakura), Sorbus commixta (Nanakamado), Daphniphyllum macropodum (Yakushima), Ilex crenata (Tokarainutsuge), Illicium anisatum (Shikimi)
	林野庁 屋久島森林管理署 2000.3		Forestry Agency Yakushima District

を雨が歓迎してくれました。さっと降って、あっという間に止むのが特徴です。水をたっぷりたたえた千尋の滝、勢いがあります。屋久島の電力は水力発電で全てがまかなえています。朝ドラのらんまんに出てきたツチトリモチにも出会えました。感激！